

新しい生活文化を発信する

アム

8/1

2002(平成14)年

年3回(8月・12月・4月)発行

NO.4

発行/立川市
編集/文化児童部女性総合センター
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2
042-528-6801 FAX042-528-6805



学校5日制 今、家庭では 地域では

4月から公立学校の完全学校週5日制がスタートしました。教育現場や家庭からは賛否両論、さまざまな意見が出ています。子どもたちの健やかな成長のために、大人たちは何ができるのか、家庭の声と地域の取り組みを取材しました。

4月から変わった学校教育

こんなところが変わりました

- * 完全学校週5日制の実施。
- * 授業時間数の短縮。
- * 教育内容の厳選。
- * 「総合的な学習の時間」の新設。 など

新しい教育のめざすもの

2002年4月から導入された新学習指導要領は、子どもたちに「ゆとり」を確保し、自ら学び考える力などの「生きる力」を育むことをねらいとしています。そのような中で実施された完全学校週5日制は、「ゆとり」の時間をいかに、子どもたちに生活体験、社会体験、自然体験などさまざまな活動を体験させ、「生きる力」を育むよいチャンスです。そこで今、学校、家庭、地域社会が連携して豊かな体験の場を提供し、積極的に子どもたちと関わっていくことが求められています。

5日制は不安がいっぱい？

93年に第2、第4土曜日が休業日になってから10年目の今年、いよいよ完全学校週5日制がスタートしました。産業界ではすでに定着している週休2日制の流れの中で、学校もまた例外ではなくなったのです。

スタートしたばかりの4月、家庭からはとまどいの声が聞こえてきました。我が家が子どもたちのためになるのでは

ないか。勉強はどうなるんだろう、などなど。中でも高学年になると、学力の低下を心配する親は少なくありません。「ゆとり教育」といって年間の授業時間が百時間余りも減ったこともあり、塾や私立学校に期待するむきもあります。

家庭ではこうした状況にどのように対応しようとしているのでしょうか。

5日制で親子のふれあい増えた

錦町に住む野口恵子さんこの項の名前はすべて仮名(この家では、小学校3年生の由佳ちゃん、この春ボイスカウトに入団しました。由佳ちゃんの入団した立川7回は、2年前から女子を受け入れており、男女の区別なく活動できるとあって

人気が高まっています。弟の雄太くん(6歳)もビ

バー隊に入団。父親の元さんはもともとアウトドア派だ。子どもも積極的に参加して、子どもと一緒にテント張りやゲームを楽しんでいます。野口さんは、「土曜日に親子で過ごす時間が増えてよかったです」と学校5日制を歓迎しています。

また、中学生と高校生の子どもを持つ上砂町の竹内豊子さんは、「子どもたちは部活で忙しいので、土曜が休みであつてもなくても、特に変わらな」と言います。

そして、「仕事や家庭生活に必要な知恵は、学校だけでなくそれ以外の場所で見つけることも多いですよ」と、

5日制は地域みんなで子育て

文部科学省は、この制度の趣旨を子どもたちの「生きる力」を育むこととして、そのための「地域での子育て」を力をつけています。これを受けてさまざまな分野で、子どもたちの居場所づくりを含めた検討が重ねられてきました。地域の大人たちが一緒にたつて子どもを育てようという取り組みが、今、始まっています。そのいくつかをのぞいてみました。

富士見土曜クラブ

5月11日、根川緑道に子どもたちの元気な声がひびきました。富士見町の児童を対象にした、富士見土曜クラブのハイキングです。

前日の雨もあがつて、午前10時に滝の上会館を出発。指導者は日本山岳会会員の守屋龍男さんと子供会シニアリーダー4名です。この日は1年から3年までの小学生25名が参加しました。空襲で多くの人がなくなつた山中坂でリーダーから当時



5日制を前向きにとらえようとしています。

の説明をうけ、残堀川遊歩道から根川緑道へ。残堀川ではカルガモ一家や鯉の泳ぐ姿が見られました。新緑の中で昼食、ゲームを楽しんだあと、普濟寺にむかいます。ここでリーダーのお兄さんが鍬兜を身につけてみせると、本物の迫力に子どもたちは大喜びでした。この日のハイキングは、富士見土曜クラブの野外活動部門の低学年むけプログラムです。高学年や中学生には登山のメニューが用意されています。クラブの代表、中野誠一さんは、「郷土の文化や歴史を学びながら友達やリーダーと一緒に登山やハイキングをして、体力づくりをしたり、やりとげることの大切さを身につけてほしい」と話していました。

子ども自然クラブ

5月18日、中央公民館では子ども自然クラブのオリエンテーションが行われていました。こちらは市内全域の小学校3年生から6年生の親子が対象です。指導は東京都環境



学習リーダーの皆さんで、6回のプログラムをとおして自然と親しみ、環境に関心を持つよう工夫されています。教室で光合成をテーマにした紙芝居「森のレストラン」を見て、子どもたちはまず緑の大切さを学びました。つぎに公民館裏の諏訪の森公園で音探しです。リーダーの山岸修子さんが「さあ目をつぶって音がいくつ聞こえるかな」と声をかけると、車の音や鳥の



声に混じって木の葉の揺れる音をあげる子どももいました。「ノアの方舟」や「こうもりと蛾」などのネイチャーゲームで、子どもたちは次第にうちとけていきました。五感を働かせて今まで気にとめなかった自然の不思議に気づいたり、自然と共生して行くことを学ぶのがねらいです。クラブの今年の名前は「子どもグリーンクラブ」に決定。グリーンは環境にやさしいと



いう意味を持っています。このクラブは環境省の主催する「子供エコクラブ」に登録されます。

子どもたちはふだんと違う体験を、ちょっとしたまじなからも楽しんでいるようでした。

P T A でも

南砂小学校では、開校当初から水曜日の放課後、PTAの管理のもとに校庭開放を行ってきました。93年には年1回の土曜日のお祭り「南砂小ひろば」が始まり、父母や教師、児童が一体となる年中行事として定着しました。平日は仕事で忙しい父母にも参加しやすいと好評でした。

今回の完全週5日制にともなう平日の授業時間が増えたため、放課後を利用した水曜日の校庭開放は困難になりました。そこでPTAでは、これまで放課後校庭開放や南砂小ひろばを運営してきたノウハウをいかして、子どもたちが学校休業日に活動できる場を考える「学校開放スタッフ」を立ち上げました。開放にあたっては、学校の



私の一言

5日制についてうかがいました。子どものいない人や、子育てを終えた人たちは5日制に関心がないようでガツカリ。みんなが子育てに悩んでいるのに、こんな重大なことに知らんぷりだなんて。一緒に考えてほしい。力を貸してほしい。(40代小学生の母)

遊びほけているわけではない。勉強やっているわけではない。ボーっと過ごす我が子に不安。(30代小学生の母)

自由な時間が増えるので文句なくうれしい。自分のために有意義につかいたい。でも小学生では難しいと思う。(高2女子)

うちの娘は中学1年生。夫は、土曜日学校がお休みになって末娘と出かける機会が増え、とても喜んでいきます。(40代中学生の母)

毎週土曜日休みだと必ず土か日に好きなことができるのでうれしい。おじいちゃん、おばあちゃんにも会える。(小4女子)

我が家に子どもはいませんが、5日制になったおかげで、土曜日に知り合いの小学生と中学生が、遊びにきました。(30代女性)

小学生の行き場所がない。場の提供もない。地域や学校で何らかの催しがあるといいと思います。中学生は部活があるので助かっているけれど、それも先生次第なので、この先不安です。(30代小中学生の母)

平日の帰りが遅くなり友達と遊ぶ時間がなくなった。学校行事も減ってしまう。どこがゆとり教育なのか?(30代小学生の母)

土曜日が自由になりいろいろな予定が立てられる。親についてくるのは今だけなので、子どもと過ごす時間が増えてよかった。(40代小学生の父)

消費生活相談コーナー Q&A



さまざまな利点があります。保護者の負担が大きくなるのではという心配もありますが、工夫しながら親子で楽しめるいろいろな企画が期待されています。

協力で校庭や体育館はもちろん、家庭科室や図書室、理科室なども利用できることになりました。PTA行事として保険の適用も受けられ、また学校の施設が利用できるなど、

各地でさまざまな取り組みが検討される中で、立川市は地域の協力を得て、休日の子どもの居場所づくりをするホリデースクール事業を計画。若葉町がそのモデル地区になりました。

休日の過ごし方はさまざまです。家庭の数だけ過ごし方があってもおかしくありません。親子で休日をどう過ごすか話し合っていますか。

ここで紹介した事例はいずれも、どちらかと言えば体験型の活動です。もちろん塾へ

5日制で子どもとともに大人も自分育て!

は、対象を町内にかぎらず周辺地域にも広げることを検討しています。公民館ではこれまでの子ども対象講座に加えて、囲碁教室や料理教室など中高生も参加できる5日制対応講座を組

み始めています。も対象講座に加えて、囲碁教室や料理教室など中高生も参加できる5日制対応講座を組

す。しかし、これを機会に近年希薄になったといわれる地域と家庭の役割を見直そうという動きもおこっています。先のボーイスカウトでは入団希望者が増える一方で、指導者不足が悩みになってい

平日の授業時間が増えて子どもたちは忙しそうだ。(30代小学生の母) 土曜日が毎週休みになって、中3の我が子にとってはよかったです。週3回夜の塾通いでかなり疲れているので、朝ゆっくり寝ていられることは貴重です。ゆとり教育なんていうけれど、とりあえず目の前にある受験を乗り越えることのほうが重要です。(40代中学生の母) 地域でメニューを用意しても、主役はあくまで子どもたち。それを忘れないで。また父親も母親も参加することで、大人同士の交流も生まれ、若いお母さんの子育ての不安が解消される場にもなればいいなと思っています。(50代女性)

Q 携帯電話に覚えのない電話番号の着信履歴がありました。その番号にかけ直すと、アダルト番組のような音声メッセージが流れたので、すぐに電話を切りましたが、高額な料金を請求されることはないでしょうか。

A 有料情報提供者が無差別に電話をかけ、1回コールしたら電話を切ります(ワン切り)。残っていた着信履歴の番号にかけると、ツーショットダイヤルやアダルト番組につながり、テープなどによるメッセージが流れるよう

です。かけ直しただけでは、契約は成立していません。うっかりかけてしまい、すぐ切ったにもかかわらず請求があったとしても、支払い義務はないので、支払いは拒否するよう助言しました。

【アドバイス】
トラブルに対処するために次の点にご注意ください。
見覚えのない着信履歴にはかけ直さない

かけ直す必要がある場合には、非通知にするか、公衆電話を利用しましょう。

不当な請求に対してはきっぱりと支払いを拒否する

通話料以外に情報料の支払い義務が生じることはありません。

個人情報は安易に教えない

業者に自分の氏名や住所などを教えないよう注意してください。



消費生活相談コーナー

立川市では、専門の消費生活相談員が皆さんの相談を受けてその問題解決や被害防止のためのアドバイスをしています。困ったとき、おかしいと感じたときには、ひとりで悩まずお電話ください。相談は無料、秘密厳守で行っています。

相談受付 月～金曜日
午前9時～正午
午後1時～午後4時
TEL042-528-6810

カウンセリング相談

毎日の生活の中で、苦しいこと、困っていること、どうしたらいいかわからないこと、ひとりで悩んでいませんか。専門のカウンセラーがあなたの悩みなどを整理したり、解決のための糸口を探すお手伝いをします。面接(要予約TEL042-528-6801)と電話相談(TEL042-528-6802)があり、土曜日は電話のみの相談となります。相談は無料、秘密厳守で行っています。

相談受付 火・木・土曜日
午後1時～5時

気になる言葉



ユニフェム

国連は1976年「国連婦人の10年基金」を設け、戦争、飢え、病気、貧困、暴力などに苦しむ開発途上国の女性に対し、技術的、財政的に援助を行い、自立を支援してきました。その後、「国連女性開発基金」(略称UNIFEM)と名称が改められました。

トレーサビリティ

直訳すると「追跡可能性」。ある商品が、いつ、どこで、どうやってつくられ、運ばれて消費者の手元にきたものか、さかのぼって調べることができるようになることです。

生産・加工・物流の各工程

補給・生活改善等)と教育・訓練(識字教育・生活向上技術・手内職等)の援助を行ってききましたが、1995年第4回世界女性会議(北京)を契機に、女性の経済的エンパワメント、女性の政策決定の場への参加、女性に対する暴力撤廃の三点を柱に、さらに援助の幅を広げています。

で、履歴情報を連続的に記録するシステムを作ることと確保できるとされています。BSE(狂牛病)や牛乳メーカー、違法添加物の事件などによって、今特に食品のトレーサビリティが注目されています。

このシステムが確立されれば、ある食品に問題が出たときに、同じ物を迅速に探し出して回収できます。また問題の原因を即座に突き止め、対策をとり、広く注意を喚起することができ

しかし、食品は生産・製造方法、流通形態が多様なため、多くの課題を抱えています。コストを抑え効率的なシステムをつくるには、IT技術の活用も重要な役割を担っています。すでに取り組み始めた企業もあり、行政や業界団体も開発・普及を推進しています。

立川・この人

カメラが後押ししてくれて たくさんのお会いがありました



長倉洋海さん

1952年北海道釧路市生まれ。写真家。1980年より世界の紛争地を訪れる。12回土門拳賞受賞。最新作に「子どもたちのアフガニスタン」(岩波ブックレット)「ワタネ・マンわたしの国アフガニスタン」(偕成社)がある。

最初に、カメラマンになったきっかけを教えてください。

最初にカメラに触れたのは大学の探検部です。中学、高校と私は自分が何をやっていけばいいのかわかりませんでした。受験勉強も周りに流されて…。ただ中学生の頃から漠然と、外国など違う世界に身を置けば、違う自分が見えてくるかもしれないという思いがあった、それで探検部に入部しました。

そこで先輩に「活動を報告するにはカメラもやれ」と言われ、本を買い込んで独学で写真の現像から引き伸ばしまでやるようになりました。とにかく挑戦できるものは全部やるという思いで取り組んでいました。

単純に「これだ!」と思いきや、アフガンなど辺境地の写メラマンになりました。

アフガンなど辺境地の写真が多いですね。

アフガンやコンボなど、戦争や貧困、難民生活など大変な状況にいてつらいはずだ、苦しいはずだ、と思っただけです。ところが、行ってみるとみんなすごく明るくて、たくましくて、優しいんです。ずっと「どうしてだろう」と考えていました。家族を心配したり、好きな人に声をかけられなくてよくよしているところは私たちと変わりません。しかし、何度も訪れるうちに、彼らには支えてくれるものがあるということに気づいたんです。

たとえば、アフガンの人々にはイスラムの信仰があるし、エルサルバドルであれば、困った人を助けようという精神が生きています。コンボで出会った子どもたちも、戦禍で

教科書もノートも失ったけれども、1週間後には立ち直っていました。家族が支えあったり、励ましあったりしているのです。人間は弱いけれど、支えとなるものをしっかり持つていけば、強く生きることが出来るのです。私は彼らのそういうもので一緒に写真に撮っていききたいです。

日本の子どもたちに一言お願いします。

人と会うことはおっくうだったり、しんどかったりするかもしれませんが、それは私も一緒です。しかし、私の場合は、カメラが後押ししてくれてたくさんのお会いがありました。自分ではそこまで耐えられない、つき合えないということがあっても、カメラがあつて「良い写真を撮りたい」と思えるから、そこで耐えて居続けることができます。

英語やコンピューターは確かに国際化のひとつの方法かもしれませんが、最後に問われるのはその人そのものです。人の痛みや人の気持ち、またその人に対してどういうことが失礼なのか、という当たり前のことがわかっていけば、気持ちには伝わりません。自分の中に大切なものがあれば、相手の大切なものもわかると思います。だから、日本の若い人たちには歌でも踊りでも絵でも何でも良い、人となりがついでに道具をみつめて、どんどん人と出会ってほしいです。

アム インフォメーション

アムでは女性も男性も共にいきいきと暮らせる男女共生社会を築くために、さまざまな事業を実施しています。

市民企画活動事業

アムでは市民による調査や講座などの企画を支援する「市民企画活動事業」を実施しています。今年度は次の10団体の事業に決定しました。(くわしくは広報をご覧ください。)

グループ・みずの	女性の自立 ～子育て中に出来る準備～
コープとうきょう	学ぶ女性史 ～実践ジェンダー学～
スウィング21	親や配偶者の介護から見えてくる女性の立場・またあるべき姿
ウェル	エンパワーメント講座・ワークショップに挑戦・5年間の記録PART
グループ・ゆき	女性のライフプランの中のペイオフとは?
W ²	男性も女性も厨房で学ぼう 沖縄長寿食
ほのぼの会	マスメディアとジェンダー
Wind	メディアリテラシーとジェンダー
エンパワーズ	気持ちを伝えるアサーティブトレーニング
ひだまりクラブ	アトピー女性の心のケア

エンパワーメント講座を開催中

2002年6月18日～10月1日まで、女性のためのエンパワーメント講座「ワークショップに挑戦」全16回を開催しています。

自分を見直し、自分の長所や適性を磨き、自己分析力や企画力、計画性、自己表現力、判断力、協調性、責任感、実行力などを身につけます。9月29日(日)には受講者の企画するワークショップを開催します。お楽しみに!!



くらしフェスタ立川 実行委員会がスタートしました

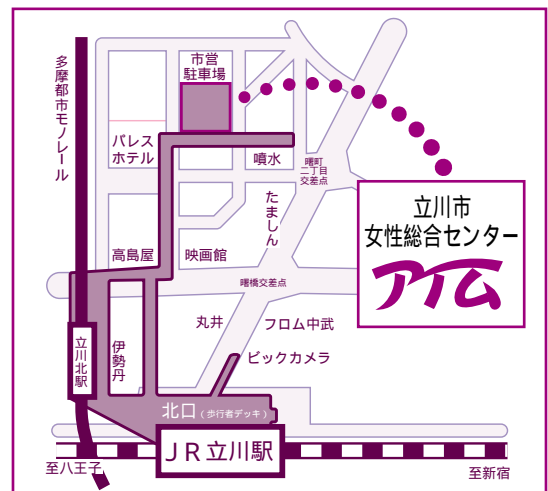
誰もが安心して暮らせる住みよい立川市をつくるため、くらしの中の身近な問題を取り上げて、さまざまな情報交換や体験のできる催しを企画しています。2003年2月末～3月上旬に開催の予定です。みんなで楽しむ「くらしの祭典」にご期待ください。

講師派遣制度のご案内

講師派遣制度は、グループや団体が希望する場所へ、講師を派遣する事業です。身の回りの疑問や生活に役立つ消費生活の情報をお届けします。講師派遣の費用は、原則として無料です。

【テーマの例】悪質商法、生活設計、食品の表示、飲料の糖度テスト、塩分テストなど。

この欄に関する申し込み・問い合わせは、女性総合センターアムへ。
TEL 042-528-6801



生活文化情報紙「アム」は下記の市民編集委員が企画編集しています。

- 五十嵐ちづ子・榎戸伸恵・小林章子・笹浪真智子・清水ひろみ・林ひとみ・比留間明子・横幕玲子